

幕末に

百年先の未来を考えた

てるのり

古橋源六郎 暉兒

平成27年

7月18日<土>~11月1日<日>

豊田市近代の産業とくらし
発見館



豊田市近代の産業とくらし発見館

豊田市喜多町4丁目45番地 ☎0565-33-0301 FAX 0565-33-0319
開館時間 9:00~17:00 休館日 毎週月曜日(祝日は開館)
入館料 無料 ホームページ <http://www.toyota-hakken.com>



古橋源六郎暉兒

古橋源六郎 暉兒

「天はなぜ、自分を、すり鉢のような谷間に生まれさせたのだ？」

三河の稲橋村（現在の豊田市稲武町）に生まれた古橋源六郎暉兒は、貧しい村に生まれた境遇を、こう嘆いたといひます。しかし、ある時、峠の上から、周囲の山々や平野を見渡しながらか、一つの確信に至りました。

「天は、水郷には魚や塩、平野には穀物や野菜、山村にはたくさんの樹木を、それぞれ与えているのだ。」

そう確信した彼は、植林、養蚕、茶の栽培など、土地に合った産業を新たに興し、稲橋村を豊かな村へと発展させることに成功しました。 「所信表明演説」より

今回の企画展では、第187回国会での安倍総理大臣の所信表明演説でも取り上げられた、幕末から明治期の篤農家 古橋源六郎暉兒について、古橋懐古館（豊田市稲武町）に伝わる資料とともに紹介します。

展示資料

品川弥二郎から贈られた杖、金原明善からの手紙、日露戦争（明治37年）の備蓄米、「参河国養蚕由来記」（古橋懐古館蔵）、「凶荒凶録」（豊田市郷土資料館蔵）ほか



手動式ろくろ 稲武郷土資料館蔵



品川弥二郎から贈られた杖 古橋懐古館蔵



古橋暉兒著述の本 古橋懐古館蔵

関連行事

子どもにもわかる ギャラリートークと座繰り機実演

日 時：7月30日（木） ①10時～11時 ②13時30分～14時30分

内 容：当館学芸員によるギャラリートークの後、稲武のまゆっこクラブによる足踏み式座繰り機の実演を見学します。（夏休みの宿題のヒントとなるワークシート付）

企画展講座「シルクを染めてみよう！」

日 時：8月1日（土）、2日（日）13時～15時

内 容：シルクのスカーフをアイの生葉で空色に染めよう！

定 員：抽せん親子10組 参加費：1枚500円

申込み：7月16日（木）までに往復ハガキ（1枚につき保護者含む3人まで）講座名、参加希望日、〒、住所、氏名、（参加者全員の）年齢、電話番号を書いて発見館

見学会「古橋源六郎暉兒と稲武」

日 時：8月21日（金） 9時30分～16時

内 容：古橋源六郎暉兒が生きた稲武を訪ね、古橋懐古館を見学します。

（※山道を歩きます。雨天時はコース変更）

定 員：抽せん20名（小学生以上、小学生は保護者同伴）

申込み：7/31（金）までに往復ハガキ（1枚につき2人まで）見学会名、〒、住所、氏名、（参加者全員の）年齢、電話番号を書いて発見館

参加費：大人1000円、子ども800円（入館料、保険料込、五平餅付）

ギャラリートーク「30分でわかる暉兒」

日 時：9月13日（日） 10時～10時30分

内 容：当館学芸員によるギャラリートークを行います。

申込み：不要 直接発見館までお越しください。



金田ち系のさんによる繰糸の実演



見学会で訪れる伊勢神トンネル

うちわ



夏のものづくり体験開催中 7/18～8/30

※詳しくはHPをみてね。